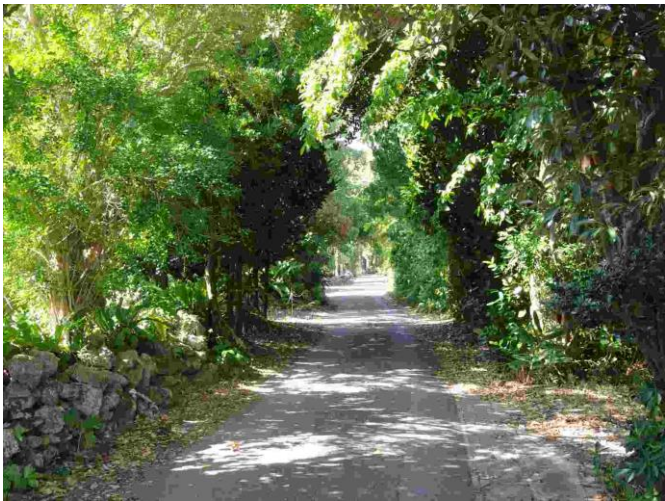
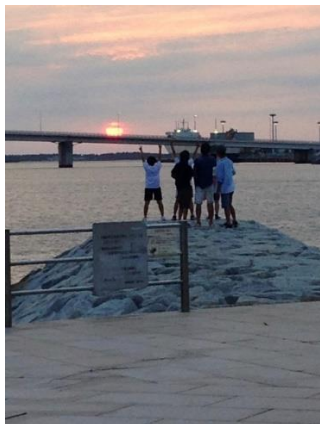


No	1
タイトル	西表島干立集落の街路
説明コメント (200字以内)	「節祭(シチ)」(国無形重要文化財)が住民により約600年も継承されている集落の生活道路。質素だが自然と共生する生活感が漂う風景。
撮影場所	沖縄県西表島干立集落
撮影年月	2021年11月
投稿者	石嶺一(琉球ブロック、株式会社国建)
	

No	2
タイトル	西表島祖納集落の街路
説明コメント (200字以内)	海の彼方から招致する神様を集落中心部へと導く生活道路。テーブルサンゴを積上げて築いた屋敷囲いと植栽されたフクギは台風から家屋を守る。
撮影場所	沖縄県西表島祖納集落
撮影年月	2021年11月
投稿者	石嶺一(琉球ブロック、株式会社国建)
	

No	3
タイトル	大阪都心のピクニックオアシス
説明コメント (200 字以内)	中之島公園は明治 24 年に大阪市で初めて誕生した公園だが、近年は訪れる人も少なく、路上生活者が多く集まる場となっていた。2000 年代以降、水都大阪の再生が都市再生プロジェクトとして掲げられ、中之島公園も設計コンペを経て 2009 年にリニューアルした。うっそうと茂った木々を伐採して水辺への視界を開き、砂ぼこり舞うグラウンドには芝生が植えられた。天気の良い休日には、多くの人が訪れ、思い思いに公園を楽しむ姿が見られる。
撮影場所	大阪市北区中之島1丁目 中之島公園
撮影年月	2014 年 10 月
投稿者	岸田文夫(関西ブロック、株式会社竹中工務店)
	

No	4
タイトル	規制緩和で生まれた水辺のくつろぎ時間
説明コメント (200 字以内)	かつて大阪は舟運で栄えたが、自動車交通の進展とともに水辺は長く街の裏側となっていた。中心オフィス街北浜の、ここ土佐堀川左岸でも建物は川に背を向けていた。川向いには中之島公園が広がっているが、その価値が十分に活かされていないことに着目した NPO が地域事業者と連携し、河川敷空間へテラスを設置することをめざし、社会実験を通じて規制緩和の仕組みを創り、占用許可を得て水辺のカフェ「北浜テラス」を実現している。
撮影場所	大阪市中央区北浜2丁目 難波橋南詰
撮影年月	2018 年 12 月
投稿者	岸田文夫(関西ブロック、株式会社竹中工務店)
	

No	5
タイトル	そこに海がある。
説明コメント (200字以内)	少子高齢社会を自認する日本。それでも社会は半世紀前とは格段に便利になった。そして街は、道路、公園、ビルディング、住宅が立派になった。ただ、僕が子どもだった頃には身近にあった自然は、今では随分遠のいた存在になってしまった。子ども達にとって、いつの時代も普通のくらしの中で自然を感じることは大切だ。福岡も人が近づける海岸線はめっきり少なくなった。ここ名島海岸では子ども達が夕陽に向かってよく対峙している。
撮影場所	福岡県福岡市東区名島海岸
撮影年月	2018 年 11 月
投稿者	尾辻信宣(九州ブロック、合同会社 G 計画デザイン研究所)
	

No	6
タイトル	棚田が連なる能登半島 白米千枚田
説明コメント (200字以内)	世界農業遺産である能登の里山里海を代表する棚田。日本海に面して小さな田が重なり海岸まで続く風景は、日本の棚田百選、国指定文化財に指定されている。棚田を保全するため、地元には協議会が組織され、多くのボランティアやオーナー会員が、田植えや稲刈りをして、耕作の苦労や収穫の喜びを体験している。
撮影場所	石川県輪島市白米町
撮影年月	2017 年 8 月
投稿者	埴 正浩(北陸ブロック、株式会社日本海コンサルタント)
	

No	7
タイトル	金沢市民の台所 近江町市場
説明コメント (200 字以内)	藩政時代に開設されてから約 300 年、金沢市民の台所として栄えてきた市場。狭い路地を挟んで約 170 店舗が並ぶ。新鮮な魚介や野菜、果物、精肉、生花、衣類まで揃う。近年、身の丈再開発により一部整備されたが、再開発と従来の市場の違いは気付かないほどである。一方、新幹線開業で観光客が増えており、買い物がしにくくなったという声も聞かれる。
撮影場所	石川県金沢市上近江町
撮影年月	2017 年 2 月
投稿者	埴 正浩(北陸ブロック、株式会社日本海コンサルタント)
	

No	8
タイトル	うだつの町並み脇町南町(国選定重要伝統建造物保存地区)
説明コメント (200 字以内)	四国三郎と呼ばれる暴れ川吉野川中流域北岸に位置し、水運や撫養街道と讃岐への曾江谷街道の交点で戦略的要所の城下町として繁栄していた。一国一城令にて脇城が廃されてからも商業都市として徳島の主産物の藍や繭の集積地として昭和初期まで栄えた。しかし、鉄道が吉野川南岸に敷設され交通体系の変革、化学製品による藍・繭の産業変革と共に衰退し、繁栄時代をしのばせるうだつの美しい京風町屋の町並みを今にとどめることとなった。
撮影場所	徳島県美馬市脇町南町
撮影年月	2002 年 10 月
投稿者	林 茂樹(四国ブロック、株式会社林建築事務所)
	

No	9
タイトル	山村集落東祖谷落合(国選定重要伝統建造物保存地区)
説明コメント (200字以内)	日本三大秘境の一つ、祖谷は平家落人伝説の残る山深い集落で、急峻な山肌にしがみつくように民家が点在している。畑も傾斜のままで耕作し水田は一カ所しかなく、農作物は蕎麦などの雑穀しか栽培が適わなかった。かつて茅葺きだった家屋はトタンを巻かれたり小屋下げが行われ、集落共有の茅場も杉が植えられ、風景もかつての姿から変化してきている。
撮影場所	徳島県三好市東祖谷落合集落
撮影年月	2002 年 6 月
投稿者	林 茂樹(四国ブロック、株式会社林建築事務所)
	

No	10
タイトル	漁村集落出羽島(国選定重要伝統建造物保存地区)
説明コメント (200字以内)	牟岐町の南海上に浮かぶ出羽島は、鯉漁を中心とした漁業の隆盛によって繁栄した島の漁村集落である。江戸後期の本格的な移住開始を契機に、島北部の入江を利用した港の周りに集落が形成された。集落拡大の歴史が地区ごとの特徴となって反映されており、幕末から昭和前期までの伝統的な民家が高密度に残り、これら伝統的建造物が周辺の環境と一体となって、離島における伝統的漁村集落の風致をよく伝えている。
撮影場所	徳島県海部郡牟岐町出羽島
撮影年月	2002 年 7 月
投稿者	林 茂樹(四国ブロック、株式会社林建築事務所)
	

No	11
タイトル	犬飼の農村舞台(国指定有形民俗文化財)
説明コメント (200字以内)	集落には必ず神社が有り、境内に歌舞伎や人形芝居を演じる建物を持つものも多い。これが「農村舞台」で人々に愛されてきた。阿波藩の領地淡路島で生まれた人形芝居は、阿波徳島で最も栄え、舞台の数も昭和42年の全国調査で209棟と全国一を誇った。全国ほとんど歌舞伎舞台のなか、徳島は全国の人形舞台の96%を占めていた。しかし、戦後の映画やテレビの普及で忘れ去られ、集落の過疎化も拍車が掛かり舞台減少が急速に進み直近調査では88棟に減少している。犬飼の舞台は県下舞台の代表格。
撮影場所	徳島県徳島市八多町多町八屋 67-3 五王神社境内
撮影年月	2012年11月
投稿者	林 茂樹(四国ブロック、株式会社林建築事務所)
	

No	12
タイトル	サンゴ草群落地
説明コメント (200字以内)	網走市北側に位置する能取湖(のどろ)には、サンゴ草(アッケシソウ)の群落地があり、初秋には湖岸が真っ赤に染まります。道東には湖が多く観光客の人気を集めていますが、ここも人気スポットのひとつになっています。
撮影場所	網走市卯原内(能取湖)
撮影年月	2016年9月
投稿者	高森篤志(北海道ブロック、株式会社ソフトスケープ)
	

No	13
タイトル	囲炉裏を囲む暮らし
説明コメント (200字以内)	江戸時代中期((1751～1763)に建てられ初期の形態をとどめた古風な民家で、国の重要文化財に指定されている。開館を待って入ると建物内に白い煙が満ちていた。煙で燻して建物を長持ちさせるため、職員が毎日午前中土間の囲炉裏で薪を炊き続けていると聞く。煮炊き、暖房、あかりでもあった囲炉裏の薪の爆ぜる音、赤く燃える炎、煙の匂い、建物に差し込む日差しを受けて天窓まで立ち登る白い煙が五感を解き放つ。
撮影場所	秋田県秋田市金足小泉上前8 秋田県立博物館分館
撮影年月	
投稿者	近田玲子(関東ブロック、株式会社近田玲子デザイン事務所)
	

No	14
タイトル	寒さの中にある人の温もり
説明コメント (200字以内)	石川県白山市白峰地区は霊峰白山の麓にあり、平年の積雪が2mを超える豪雪地帯で、雪とともに生きる独自の文化を有する当地区は2012年には重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。大雪で吹雪の中、日曜日の朝から地域の人々が協働で雪かきをして、みんなが歩くための通路を確保する姿は、寒さの中で「くらしを紡いでいる」心温まる美しい風景です。
撮影場所	石川県白山市
撮影年月	2022年2月
投稿者	新田川貴之(北陸ブロック、株式会社国土開発センター)
	

No	15
タイトル	しながわ花海道の春
説明コメント (200字以内)	勝島運河では地域(市民、団体、企業)が主体となって、運河の護岸に花を植える活動を行っており、「しながわ花海道」として多くの人に愛されています。春は満開に咲き誇る桜と菜の花、秋は桜の紅葉とマリーゴールド。季節ごとに様々な表情で訪れる人を楽しませてくれます。
撮影場所	東京都品川区勝島運河
撮影年月	2022年4月
投稿者	横山公一(関東ブロック、株式会社プランニングネットワーク)
	

No	16
タイトル	地域の誇り、藤の花に彩られる下町
説明コメント (200字以内)	大阪市福島区辺りは室町時代から藤の名所として知られ、江戸時代の『摂津名所図会』等にも多く登場する。明治には牧野富太郎博士により日本独自の藤の原種として「ノダフジ」と命名されたが、その後の都市化や空襲で絶滅寸前であった。戦後、地域の人たちの復活への努力が実を結び、区内各所で藤の花が見られる。特に地域住民が育てた鉢植えのノダフジが、下町長屋の軒先を彩る風景は、住民の地域への誇りと愛情を伝えてくれる。
撮影場所	大阪市福島区吉野4丁目
撮影年月	2007年4月
投稿者	岸田文夫(関西ブロック、株式会社竹中工務店)
	

No	17
タイトル	景観条例？楽しければいいよね。
説明コメント (200字以内)	景観条例に対するタイピカルでない回答。庇の高さズレてるし、下に鉄柱生えてるよ。二階に格子のない連窓あるよね？。うだつも無いよ、ベランダ見えてる、パラソル立ってる、それでもアリな感じがするのは色彩調和のおかげかな？
撮影場所	愛知県犬山市本町通
撮影年月	2022 年 4 月
投稿者	松川 奨(関西ブロック、株式会社 RE 地域計画)



No	18
タイトル	路地裏のほっとスポット
説明コメント (200字以内)	都市景観形成区域の空き地にちょっと面白い空間がある。工業地域の象徴のような廃コンテナと、それを模したであろう鉄とガラスの建築、それにオープンスペース。夜であればコンテナから延びた電球の明かりに誘われて蛾のようにフラフラと立ち寄りた気分になっていたであろう。
撮影場所	富山県富山市総曲輪3丁目
撮影年月	2022 年 4 月
投稿者	松川 奨(関西ブロック、株式会社 RE 地域計画)



No	19
タイトル	無電柱化なんかしなくても
説明コメント (200字以内)	景観育成基準ガイドラインでは「電柱、鉄塔類はできるだけ目立たないように設置すること。」となっているが、ここでは電柱が堂々たる主役。まるで街路樹かのようなすっとした佇まいが魅力的。只、惜しむらくは通りを横切る数本の電線。京都市新町通りのように完全になれば更に美しさを感じられたと思うのが残念。
撮影場所	長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢本通り
撮影年月	2022 年 7 月
投稿者	松川 奨(関西ブロック、株式会社 RE 地域計画)
	

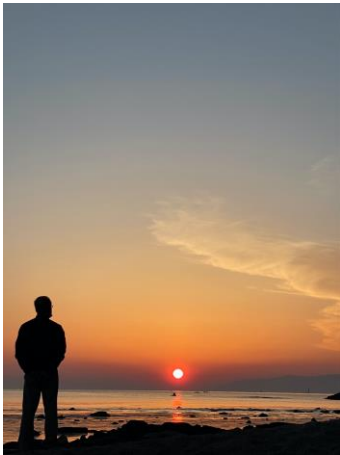
No	20
タイトル	佇む往年の名機達
説明コメント (200字以内)	かつてここには日本最先端の技術を擁した鉄道が走っていた。難所として知られた碓氷峠、その歴史は長野新幹線の開通により幕を閉じたが、その鉄道遺構は近代化遺産として国の重要文化財となった。しかし主役であった鉄道車両達はその対象とならず、廃止から25年、今もこの地に佇み続けている。保守費などの資金がクラウドファンディングでもなかなか潤沢に集まらない現状だが是非頑張ってほしい。
撮影場所	群馬県安中市松井田町横川
撮影年月	2022 年 7 月
投稿者	松川 奨(関西ブロック、株式会社 RE 地域計画)
	

No	21
タイトル	令和の川床
説明コメント (200字以内)	今年の夏は本当に暑い。京都で定番の納涼床も涼しくない。しかも最近の公園は維持費の関係で噴水などが休止されて水遊びできる場所も減ってきた。かといって川は危ないと規制がかかる。そんな中、公園の池の上に新たな施設が誕生した。自然に溶け込む開放的なデザイン、子供たちの池への侵入オッケー。これで営業時間が長ければ最高だが世の中には管理責任というものが。
撮影場所	岐阜県美濃加茂市山之上町ぎふ清流里山公園
撮影年月	2022 年 8 月
投稿者	松川 奨(関西ブロック、株式会社 RE 地域計画)
	

No	22
タイトル	カモメの越冬
説明コメント (200字以内)	カモメは夏に北の大陸で過ごし、秋から冬にかけて越冬しに日本にやってくる。私たちは毎年、カモメの群れを見ると季節の移り変わりを感じる。また、大陸で過ごし広大な海を渡って日本にやってくる鳥から私たちは様々な地域の暮らしの繋がりも感じることが出来る。私たちは同じ場所の景色でも、毎日違った彩りが与えられることによってその時々美しい風景を味わえる。それは私たちにとって小さな幸せである。
撮影場所	石川県能登町五色ヶ浜海水浴場
撮影年月	2021 年 10 月
投稿者	井口美南(北陸ブロック、石川工業高等専門学校)
	

No	23
タイトル	田植えをする人
説明コメント (200 字以内)	暮らしの重要な要素に衣食住があると考え、その食に焦点を合わせ、その中でも毎日食べているであろうお米をつくる田植えの風景を選びました。お米をつくる人また、お米をつくるための機械をつくる人などいろいろな人の、その人にとっては毎日、毎年繰り返す単純作業が人々の暮らしを支えていると考えその風景こそ暮らしを紡ぐ美しい風景にふさわしいと考えこの写真にしました。
撮影場所	石川県小松市 木場潟南園地駐車場前の道路から
撮影年月	2022 年 5 月
投稿者	片山海陽(北陸ブロック、石川工業高等専門学校)
	

No	24
タイトル	首都東京
説明コメント (200 字以内)	くらしを紡ぐ美しい風景と聞いて田舎の写真を選ぼうと考えた。だが、そういった過疎地域は人がほとんどいなくなり、建物は残せても日常生活などの風景は失われていく。なので、人が集中し、物事が目まぐるしく動く東京の写真を選んだ。
撮影場所	東京都
撮影年月	2022 年 3 月
投稿者	松本琉矢(北陸ブロック、石川工業高等専門学校)
	

No	25
タイトル	太陽を見つめる人
説明コメント (200字以内)	太古から地球を照らし続け膨大なエネルギーを降り注ぐ太陽は、古くから地球上の様々な文明で神として崇められた。日本においては太陽神である天照大神が重要な存在として崇められ、また国旗が日の丸であることから日本人の暮らしの古くからの太陽との関係が伺える。この写真は富山県雨晴海岸で撮影したもので、富山湾の奥に浮かぶ立山連峰から朝日が昇っている。その光景を見ようと朝早くから海岸には多くの人々が集まっていた。
撮影場所	富山県雨晴海岸
撮影年月	2022 年 5 月
投稿者	山田響(北陸ブロック、石川工業高等専門学校)
	

No	26
タイトル	いつもの朝
説明コメント (200字以内)	通勤ラッシュの時間にできる電車待ちの列。人はそれぞれ出勤・通学する時間は大体決まっています、駅についてからどの車両のどの入り口から電車に乗り込むかも決まっています。だから駅に着くと毎朝同じ顔が並んでいる。今日はあの人がいないとか、今日はいつもと違う人がいるなどかと思える面白い場所である。これは個人の暮らしの些細な一部であるが、ここでしか起こらない人と人との暮らしが交わる場所である。
撮影場所	石川県金沢市金沢駅
撮影年月	2022 年 4 月
投稿者	吉田美桜(北陸ブロック、石川工業高等専門学校)
	

No	27
タイトル	ガス燈灯る大阪都心・三休橋筋のまちなみ
説明コメント (200 字以内)	大阪都心部には淀屋橋・北浜界隈を中心に歴史的建築物が数多く残っています。特に三休橋筋は御堂筋や堺筋といった幹線道路とは異なるヒューマンスケールな街路であり、沿道の歴史的建築物を巡るツアーなど、様々な活動が展開されています。そのような志高い市民活動に呼応して、行政機関が無電柱化などのプロムナード整備をおこない、さらには企業の寄付によって 55 本のガス燈が灯る『ガス燈通り』へと変貌したのです！
撮影場所	大阪府大阪市中央区高麗橋通り
撮影年月	2019 年 8 月
投稿者	篠原 祥(関西ブロック、ARC地域力研究所)
	

No	28
タイトル	大阪都心・川面からの眺めー堂島川ー
説明コメント (200 字以内)	およそ 20 年前に大阪都心部の水辺空間での新たな試みが市民活動として模索され始めました。その一つの「水辺タクシー」を利用して 2004 年に撮影した写真がこれ！ 小型モーターボートで行きたいところへ行き、大阪のまちを川の上から眺めることができるという、当時としては画期的な出来事でした。それから 20 年、大阪の水辺空間はハードソフト共に整備が進み、多くの市民がこのような風景を楽しめるようになりました。
撮影場所	大阪府大阪市北区中之島
撮影年月	2004 年 11 月
投稿者	篠原 祥(関西ブロック、ARC地域力研究所)
	

No	29
タイトル	大阪土佐堀川の川辺のレストラン
説明コメント (200 字以内)	水辺の活用が進む大阪、平安時代から外港があった天満橋・八軒家浜に月一でレストランが出ます。沈む夕日や行き交う船を眺めながら、大阪食材のフルコースを楽しめます。
撮影場所	大阪府大阪市中央区天満橋
撮影年月	2022 年 6 月
投稿者	岡 絵理子(関西ブロック、関西大学)
	

No	30
タイトル	まちを見下ろす城壁に座る 2 人の少年
説明コメント (200 字以内)	トルコ北西のウルダー山麓にあるオスマン帝国の古都ブルサ。その歴史的市街地では、遺跡や歴史的建築物を活用した都市デザインが進められ、日常に歴史が溶け込んでいる。
撮影場所	トルコ共和国ブルサ県
撮影年月	2019 年 9 月
投稿者	若本和仁(関西ブロック、大阪大学)
	